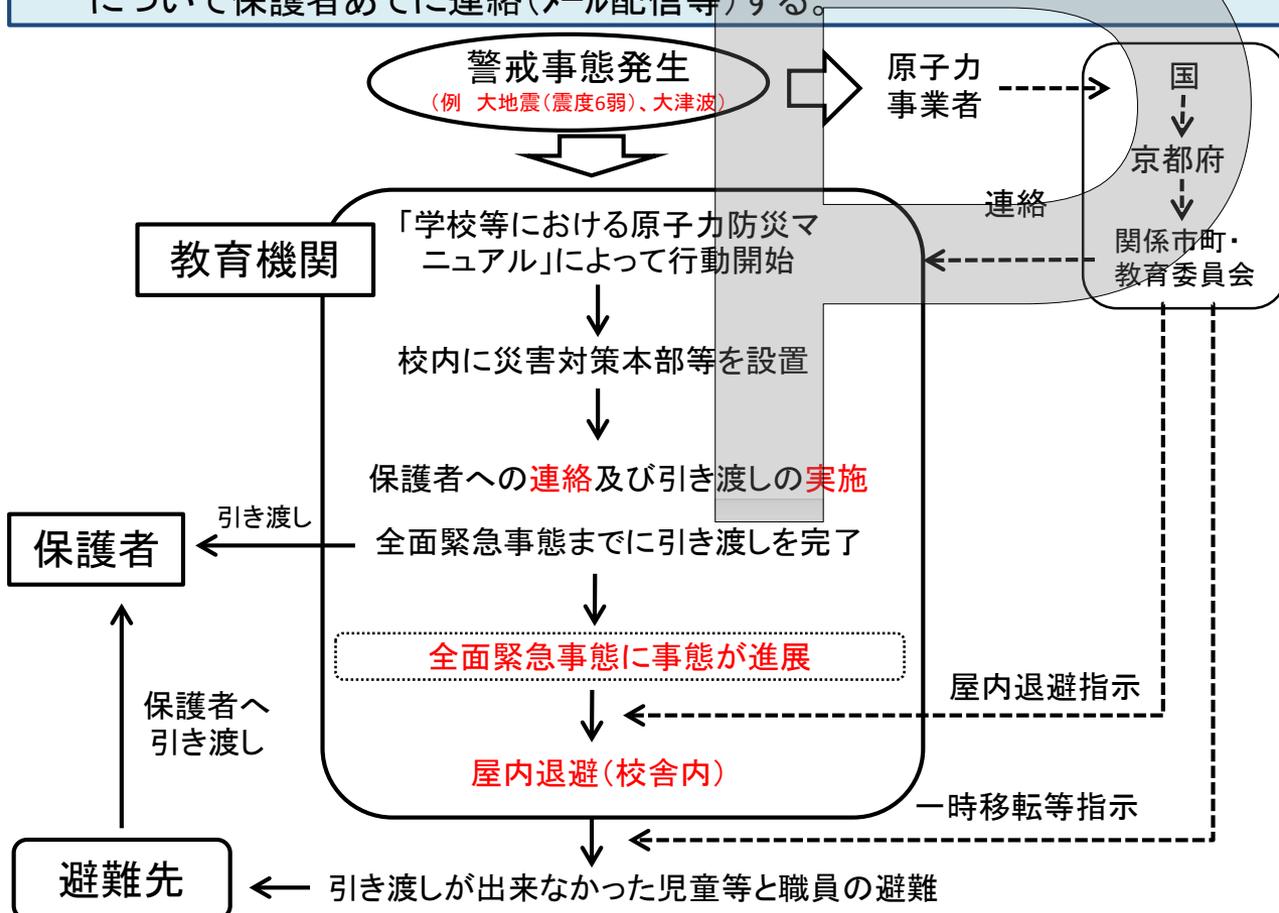


京都府におけるUPZ内の学校・保育所等の防護措置

- 京都府では、警戒事態発生時に、UPZ内に位置する保育所・幼稚園、小学校及び中学校等毎に**校長等を本部長とする**学校災害対策本部等を設置する。
- 全ての学校・保育所において学校原子力災害時避難計画を策定済みであり、**施設敷地緊急事態により市町災害対策本部から屋内退避の準備として帰宅指示が出された場合には、児童等を保護者に引き渡し、全面緊急事態までに完了する。**
- **引き渡しができない児童等は、屋内退避(校舎内)を実施する。その後、事態が悪化し、市町災害対策本部から一時移転等の指示が出された場合は、職員等とともに一時移転等を行い、避難先において保護者に引き渡す。**
- 関係市町災害対策本部や関係市町教育委員会等の指示に従い、学校等の対応(屋内退避)及び保護者の迎え等について保護者あてに連絡(メール配信等)する。



UPZ内の教育機関数

	教育機関数(機関)	児童・生徒数(人)
保育所・幼稚園等	32	2,779
小学校	20	4,216
中学校	8	2,404
高等学校	5	1,953
特別支援学校	4	160
その他学校	4	1,050
合計	73	12,562

平成27年5月1日時点(一部平成28年度のデータあり)

京都府におけるUPZ内の一般住民の防護措置

- 国の原子力災害対策本部は、緊急時モニタリングの結果に基づき、空間放射線量率が毎時500 μ Sv超過の区域に対して数時間から1日以内に避難を、20 μ Sv超過の区域に対して概ね1週間程度内に一時移転を指示。
- 国の原子力災害対策本部の指示に基づき、当該区域の市町災害対策本部より、防災行政無線、**広報車**、緊急速報**メールサービス**、TV、ラジオ等を用いて一時移転等の指示を伝達。
- 当該住民は避難計画で定めている避難先へ一時移転等を実施。
- 京都府では、渋滞抑制の観点から、原則バスによる移動を実施。

<UPZ内市町の避難先>

市町名	府内避難先		府外避難先	
	南方向	西方向		
京都市 298人	京都市内		—	
舞鶴市 81,177人	京都市、宇治市、 じょうようし むこうし 城陽市、向日市	※府外避難先と 同一	兵庫県 神戸市、尼崎市、 西宮市、淡路市 (合計64,468人)	徳島県 鳴門市、松茂町、 北島町 (合計16,709人)
綾部市 1,684人	福知山市、亀岡市	福知山市	兵庫県 あいおいし あこうし 相生市、赤穂市、 しろうし 宍粟市、たつの市、 たいしちやう さようちやう 太子町、佐用町 (合計1,684人)	
なんたんし 南丹市 3,499人	南丹市内	南丹市内	兵庫県 すもとし 洲本市、南あわじ市 (合計3,499人)	
きやうたんぱちやう 京丹波町 286人	京丹波町内	京丹波町内	芦屋市 (合計:286人)	

